

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型障がい福祉サービス事業あっぷ			
○保護者評価実施期間	令和7年5月7日 ～ 令和7年5月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年5月7日 ～ 令和年5月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所外での活動が多い。	地域との関わりが持てるよう、公園へ行って地域の学童との交流を持ったり、地域のイベントや、ドッジボール大会に参加するなどしている。また、買い物学習や資料館等へ出かけるなど、様々な場所へ出かける事で、TPOに応じた振る舞いが学べるように心がけている。	特定の公園や学童との交流だけではなく、地域の様々な施設との交流を持てるようにする事で、地域での居場所をつくり、連携出来るようにしていく。
2	児童の希望を活動内容に反映させている。	毎月活動内容を決める話し合いで、児童も参加して一緒に決めているので活動プログラムに児童の希望を反映させやすい。興味のあることや、個別に必要と思われる内容を活動に取り入れる事で支援の充実を図っている。	進学・実習・就労等を意識した取り組みを、年齢に応じて個別に実施出来るようにしていく。 例) 通学や通勤の練習（バスの乗り方）等
3	こどもの状況を保護者と共通理解がきちんと出来ている。	連絡帳や、送迎時の引き継ぎのほか、個別に電話やメール等でのやりとりを行うようにしている。また必要に応じて自宅での様子を確認する等も行うことで個別の相談などを受けやすくしている。	今後も丁寧な情報共有を意識して対応をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に向けた情報発信・情報提供が不十分である。	マニュアル等の説明について、契約時に説明するがその後改めて説明をする機会を設けていない。また、活動状況などの発信をInstagramで行っているが投稿頻度が少ないため、十分に伝わっていない。	当事業所の取り組みについて、マニュアル等に関する情報を提供出来る場を増やせるよう検討していく（モニタリング・ホームページ掲載・配布等）。 Instagramで投稿した際には、都度保護者へ声掛けをして周知をしていく。
2	自立支援協議会への参加や、児童発達支援センター等との連携など、外部との関わりが少ない。	委託相談員がついているケースの会議等で関わる事があるが、積極的に協議会や支援センターの取り組みについての情報を得ることはしていなかった。	自立支援協議会やその他、地域の資源に関する情報を積極的に入手し、必要な機関と連携を取れるようにしていく。
3	父母会の活動支援や保護者会等の開催、保護者同士の交流の機会が設けられていない。	父母会等の要望に関して「なくても良い」との意見もあり、取り組みが遅れていた。	父母会等の保護者同士の交流について、保護者の意向を確認しながら開催の検討をする。